

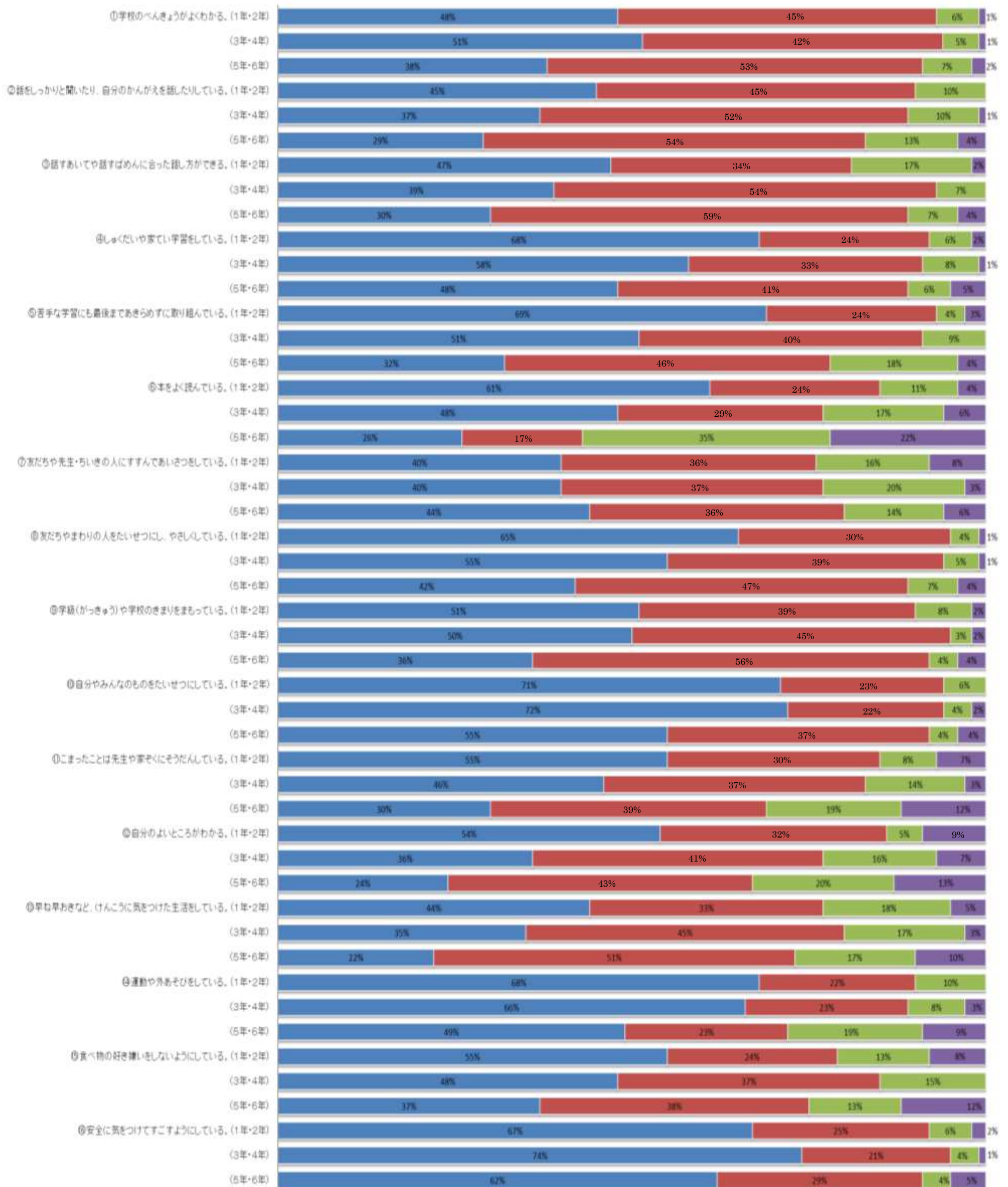


令和6年度後期の「ふりかえりアンケート」を実施するにあたり、ご協力をいただきましてありがとうございました。

ふりかえりアンケートでは、児童・保護者・教職員がそれぞれの立場で自己評価を行い、それぞれの項目に対する意識の数値化を行っています。その結果から傾向をとらえて、そして実態とも照らし合わせ、朱雀第八小学校の学校教育に生かしていくものとしています。また、自由記述欄には貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございました。いただきましたご意見のすべては全教職員で共通理解しています。現在のよい取組を大切にしながらも改善すべきことを真摯に受け止め改善に取り組み、充実した朱雀第八小学校の教育活動が実践できるよう、全教職員で取り組んでいます。

令和6年度後期 児童アンケート

■ よく出来ている ■ 大体出来ている ■ あまり出来ていない ■ 出来ていない



※（ ）内、令和6年度

前期のふりかえり数値との比較です

＜確かな学力に向けて＞

重点目標【1 子ども一人ひとりが課題解決に向けて主体的に学ぶ力を伸ばす 2 対話的な学びを通してコミュニケーション能力を育成する 3 基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を目指す】

① 「授業理解」に関する項目

児童 92％（－2）、保護者 96％（±0）が学校の学習がわかるとする肯定群を選択しています。中学年児童の肯定群の値が一番高くなっています。高学年になるにつれ難しくなる学習内容、個に寄り添う指導・フォローを全教職員で行っていきます。勉強がわかると思う児童が増えるように日々の授業を大切に、家庭との連携を丁寧に、確かな学力を目指していきたいと考えています。また、来年度も学年内での交換授業や複数教員による協力指導、そして外部講師を招いての特別授業等の充実を進めていきます。

② 「話す・聞く」 ③場面にあった「話し方」に関する項目

②の項目に関しては児童 87％（＋1）、保護者 92％（＋3）が肯定群を評価しています。③の項目では、児童 88％（＋2）、保護者 86％（＋2）が肯定群を評価しています。今年度の研究では、“対話力を育てる”指導の工夫を進めてきました。友だちとのかかわりを通して高めあうことができるよう取り組んできました。児童の様子を見ると、苦手意識をもつ児童もいますが、高学年になるにつれて様々な友だちと関わる機会も増え、また授業の中でも意図的・計画的に対話に取り組むことで、力を伸ばしてきていることも感じています。「聞く」ことについては、今後も丁寧に指導をしていきます。相手の思いや考えを受け止め尊重し、共感することや理解することで、より良い人間関係を築くための力をつけていきたいと考えています。

④ 「家庭学習」に関する項目

児童 90％（＋2）、保護者 90％（＋5）、教職員 87％（－3）ができていとする肯定群を選択しています。多くの児童が家庭学習を自分事として捉えて進めています。中学年以降に取り組んでいる自主学習にも充実が見られます。自分の見つけた課題にじっくりと取り組む様子が、ノートなどからうかがうことができました。低学年を「家庭学習の習慣づけ」、中学年を「家庭学習の定着」、高学年を「自学自習の確立」と目標を立てて取り組んできました。保護者の皆様、放課後まなび教室の皆様には大変お世話になりました。いつもありがとうございます。

⑤ 「あきらめずに取り組む」に関する項目

児童 86％（－1）が肯定群を選択しています。今年度の6年生を対象に実施した「全国学力学習状況調査」では、国語科・算数科の全て、どの領域どの問題においても全国・京都府の平均を上回る結果となりました。無回答率が下がり、粘り強く取り組む力が伸びてきていることがわかりました。児童の状況を丁寧にみとり、努力してきていることをしっかりと褒めること・認めることを大切にしていきたいと思います。

⑥ 「読書」に関する項目

児童の 68％（－8）、保護者 59％（＋12）が肯定群を選択しています。保護者の意識の高まりに反して、児童全体でも否定群を選択する値が増えていることがわかりました。高学年になるにつれての読書への関心が薄くなってきていることもわかりました。そして教職員の意識が低いこともわかりました。学校ではじっくりと読む時間がとれていないことも理由かもしれません。放課後の様子を聞いていると、「メディアを使って読むことも増えた」とする児童もいましたが、読む活動のさらなる充実の必要を感じています。「じゃんけんぽん」の皆様にはたくさんのご支援をいただきました。火曜日朝の読みかたり、学年ごとのロングじゃんけんぽん、学年への授業関連図書の配架等、ありがとうございます。またベルマーク委員さんからは今年度、職員室前にベルマーク文庫も作っていただきました。しっかりと活用していきたいと思います。

＜豊かな心について＞

重点目標【1 社会性を身に付け、自尊感情を高める人間関係づくり・集団作りに努める 2 子どもの規範意識を高め、子どもが安心して学べる学校づくりを進める 3 道徳教育の充実を図る】

⑦ 「あいさつ」に関する項目

「友だちや先生・地域の人にすすんで挨拶をする」では、児童の 77％（－3）ができていると評価しています。高学年児童の方が肯定群を選んでいることがわかりました。挨拶は相手を思いやる気持ち、相手の存在を認めていることを相手に積極的に伝える大切なことです。実際、廊下などですれ違った際にしっかりと挨拶ができる高学年の児童が増えてきています。素敵な高学年の児童をお手本に、学校全体に挨拶の輪がどんどんと広がっていくことを願っています。

⑧ 「やさしさ」⑨「きまり」⑩「ものを大切にする」に関する項目

これらの項目では、9割以上の児童ができていとする肯定群を選択しています。休み時間の運動場などを見ていまして、学年が入り混じって遊ぶ姿がたくさん見られる朱八校です。友だちに対しての声かけやかかわりを見ても優しく接する姿があらこちらで見られ、ほほえましく感じています。地域やご家庭でのお子へたちのかかわりのおかげです。感謝しております。学校では、引き続き規律のある学級経営の充実とともに、道徳教育や人権教育「なかまの日」の取組を、児童の実態や発達段階に応じた学習内容を工夫して進めていきます。

⑪「相談」に関する項目

児童 79％（－1）、保護者 89％（＋1）、教職員 96％（－4）が肯定群を選択しています。なかなか話づらいというのは高学年になるにつれて増えてはいくものとも考えますが、本当に困ったときには相談ができる人がいるという状況はしっかりと確保しておかなければならないと考えます。話しやすい雰囲気や学級、学校をつくることができるよう、児童と信頼関係を築けるように努力していきます。地域や保護者の皆様におかれましても、お子たちのことでお気づきになられたことは、ご遠慮なくご相談ください。学級担任だけでなく学年主任、管理職、養護教諭、スクールカウンセラー等の複数の教職員で児童の情報を共有し連携しあって、一人ひとりの児童を支援していきます。

⑫「自尊感情」に関する項目

児童の 76％（±0）ができていとする肯定群を選択しています。自尊感情は、自分を好きだという気持ち、大切に思う気持ちです。自分をありのままに受け入れて認めることができるよう、様々な学習体験や友だち、先生とのかかわりを通して、一人ひとりの児童が自分のよさを感じることができるようしていきたいと考えます。一人ひとりの児童が自分らしくいられる場、持続的に安心感を得られる場、他者に認められる場としての学校づくりを徹底して進めていきます。

＜健やかな体について＞

重点目標【1 運動やスポーツの実践と体力の向上 2 保健教育の充実 3 安全教育の充実】

⑬「基本的な生活習慣」に関する項目

児童の 76％（－2）保護者 77％（－2）が肯定群を選択しています。しっかりとした休息がとれていない様子も見受けられます。お子たちの体調の管理をどうぞよろしくお願いいたします。マイタイムデーの調査ではゲーム機やPC、スマホ等の利用時間が年々伸びていることがわかります。学習、健康、依存症問題など様々な観点から、ゲームやSNSの時間が長くならないよう、情報教育の中で指導していきます。つつい利用する時間が長くなりがちですが、約束事はきちんと守ることができるように声かけをお願いします。

⑭運動・外遊びに関する項目

児童 84（＋2）、保護者 63％が（－2）ができていとする肯定群を選択しています。体づくりや体力向上の観点から、体育学習や保健指導を中心に、体を動かすことの大切さを伝えていきたいと考えます。また、休み時間を活用した学級遊び等を通して、集団遊びの楽しさを味わうことから積極的な運動につなげたいと考えます。放課後になかなか遊ぶ場所が少ない本校の校区ではあります。学校は年間を通して 16：15 まで校庭を開放しています。お声をいただければありがたいです。

⑮偏食に関する項目

児童 79％（－2 ができていとする肯定群を選択しています。食は体づくりの根幹です。学校では給食指導だけでなく、食への関心を高めるために食育の指導を栄養教諭を中心に行っています。また、友だちと一緒に食べる給食を通して、食べることの楽しさを味わえるよう工夫しています。苦手な食べ物を食べるよう無理強いすることはできませんが、苦手な食材でも少しだけなら食べられるという児童も少なくありません。食べることが好きになり、豊かな食生活を送ることができるようにしていきたいと思います。

⑯安全に関する項目

児童 92％（－4）ができていとする肯定群を選択しています。児童も常に安全を意識して行動し、ご家庭でも指導してくださっていることがわかります。また朱雀第八小学校交通安全協議会の皆様には、いつも大変お世話になっております。自分の身を守る、命を守ることは最優先課題です。しかし、私たちが遭遇するかもしれない危険は実に多種多様であり、いつどのような形で、危険にさらされるかわかりません。学校ではあらゆる場面を想定し、多様な安全指導・訓練を行っていますが、さらなる充実を図っていききたいと考えます。ご家庭におかれましても、十分にお話をいただいていると思いますが、また折に触れ、よろしくお願いいたします。

自由記述欄

・担任以外の先生にもいろいろ関わっていただき、ありがとうございます。

・家ではまだまだフォローするところもあるが、学校でもしていただき、ありがたい。

・自分で調べることをするようになってからは、自分で考えながら宿題をするようになりました。

・諦めない気持ちが育ってきているのかなと思います。

・勉強面で「ここがわからない」といえる時間が週1でも月1でもあればと思います。

・休み時間に外遊びをするように声をかけてほしい。

・夏期間はのこり遊びを 16：30 にしてほしい。